

■課題・課題解決の狙い

前回までの議論をふまえて、坂井輪地域の「課題」と「課題解決の狙い」の項目を追加・修正（赤字で記載）しました。その上で、対策案の比較を端的に考察するため、評価項目を下記のような形で再整理しました。

対策案は、この「課題解決の狙い」をもとに作成し、対策案の評価は、「課題解決の狙い」から作成した「評価項目」にて行います。

課 題	課題解決の狙い	整理の考え方	課題解決の狙い（統合再整理）
① コスト （施設の維持・更新費）	1) コストを長期的（30年間）に、どの程度削減できるか	1)	1) コストを長期的（30年間）に、どの程度削減できるか
② 安心・安全の確保	2) 子どもの安心・安全の確保ができるか 3) 大規模な災害で、安心して避難できる避難所運営ができるか 4) 子どもたちが学校や公共施設まで行く際のアクセス面での安全は確保されているか	2) + 4) 3) は、運営面の課題として付帯事項で整理します	2) 防犯面、交通面で子どもの安全は確保できるか
③ 子育て環境の充実	5) こどもが自由に過ごせる環境（居場所）が確保されているか。未就学児から中高生の幅広い層の居場所となっているか。子どもたちが健やかに育つ環境にあるか 6) 子育て施設が、利用しやすい施設配置となっているか。子育て環境が悪化しないか 7) 一時預かりの場が拡充されるか 8) 中高生の居場所として機能しているか	• 5) + 6) + 8) • 7)	3) 未就学児から中高生まで幅広い層の子どもの居場所が利用しやすい配置のもと確保され、健やかに育つ環境が整っているか 4) （休日）一時預かりの場が拡充されるか
④ 地域の活性化、 多世代共生・交流	9) 地域の活動場所の確保ができているか 10) 活性化に寄与する機能が確保されるか（地域の将来性） 11) 地域の人と一緒に会える場が確保できているか 12) 多世代が自然と交流できる施設となっているか 13) 高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場が確保されているか	• 9) + 11) + 12) • 10) 13) は、ソフト面での対応として付帯事項で整理します	5) 地域の活動場所や若者から高齢者まで多世代が集まり交流できる場が確保されているか 6) 地域の活性化に寄与する機能が確保されているか（地域の将来性）
⑤ アクセスの充実	14) 各施設に十分な駐車場が確保されるか 15) 公共交通のアクセス性は向上するか	• 14) • 15)	7) 各施設に十分な駐車場が確保されるか 8) 公共交通のアクセス性は向上するか
⑥ 民間活用、 空き家活用	16) 民有地・民間建物などの活用ができているか 17) 空き家の有効活用の可能性があるか 18) 商業施設の配置を考慮した公共施設の配置となっているか	• 16) + 17) + 18)	9) 民有地・民間建物・空き家の有効活用が出来ているか、可能性があるか。あるいは、商業施設を考慮した公共施設の配置となっているか。
⑦ 運営方法	19) 公共施設の運営に地域住民など民間活力の可能性があるか 20) 同一施設で複数の用途に利用するなど、運営面の工夫ができるか	• 19) 20) は運営面の課題として付帯事項で整理します	10) 公共施設の運営に地域住民など民間活力の可能性があるか

再整理した項目で比較評価結果を再作成します。